

結果の概要

－基本集計－

I 移動者数

都道府県間移動者数は15年連続減少、男女とも減少

平成22年の1年間における日本人の市区町村間の移動者数（市区町村間で住所を移し、転入の届出を行った者の数）は508万4579人で、前年に比べ21万5446人（4.1%）の減少と、16年以降7年連続の減少となっている。

男女別にみると、移動者数は男女とも減少し、共に平成16年以降7年連続の減少となっている。

移動者数を都道府県間移動者数と都道府県内移動者数に分けてみると、都道府県間移動者数は233万2392人で、前年に比べ13万7187人（5.6%）の減少と、平成8年以降15年連続の減少となっている。

男女別にみると、都道府県間移動者数は男女とも減少し、男性が平成8年以降15年連続の減少、女性は14年以降9年連続の減少となっている。

都道府県内移動者数は275万2187人で、前年に比べ7万8259人（2.8%）の減少と、平成16年以降7年連続の減少となっている。

男女別にみると、都道府県内移動者数は男女とも減少し、男性は平成16年から減少、21年は微増となったが、22年は再び減少となっている。女性は平成16年以降7年連続の減少となっている。

（表1、表2、図1、統計表第1表）

表1 男女別移動者数（平成21年，平成22年）

区分	市区町村間移動者数				都道府県間移動者数				都道府県内移動者数			
	平成22年	平成21年	対前年増減		平成22年	平成21年	対前年増減		平成22年	平成21年	対前年増減	
			実数	率(%)			実数	率(%)			実数	率(%)
総数	5,084,579	5,300,025	-215,446	-4.1	2,332,392	2,469,579	-137,187	-5.6	2,752,187	2,830,446	-78,259	-2.8
男	2,710,887	2,862,984	-152,097	-5.3	1,299,835	1,398,302	-98,467	-7.0	1,411,052	1,464,682	-53,630	-3.7
女	2,373,692	2,437,041	-63,349	-2.6	1,032,557	1,071,277	-38,720	-3.6	1,341,135	1,365,764	-24,629	-1.8

図1 移動者数の推移（昭和29年～平成22年）

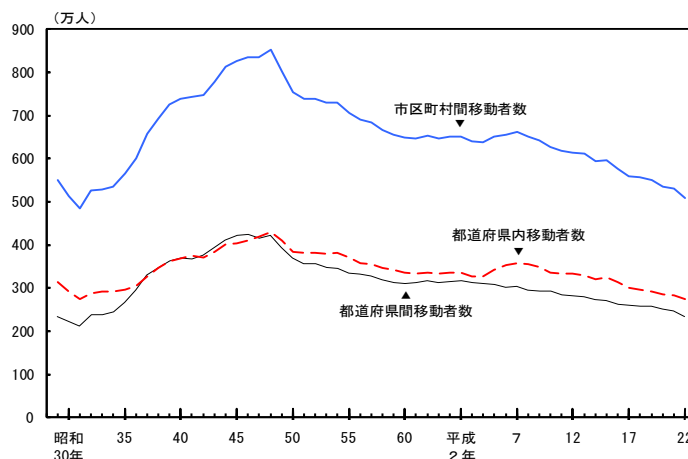


表2 移動者数の推移（昭和29年～平成22年）

年	移動者数 1)			移動者の性比 2)		
	総数	都道府県間	都道府県内	総数	都道府県間	都道府県内
昭和 29年 1954	5,498,318	2,352,814	3,145,504
30 1955	5,140,569	2,227,052	2,913,517
31 1956	4,859,625	2,121,781	2,737,844
32 1957	5,268,248	2,380,316	2,887,932
33 1958	5,294,291	2,380,626	2,913,665	3)108.8	3)120.3	3)100.1
34 1959	5,357,658	2,442,633	2,915,025	107.9	118.9	99.6
35 1960	5,652,659	2,679,719	2,972,940	112.2	125.8	101.3
36 1961	6,012,494	2,952,389	3,060,105	115.5	131.2	102.3
37 1962	6,580,189	3,302,749	3,277,440	116.7	132.3	103.0
38 1963	6,936,831	3,472,747	3,464,084	115.4	129.6	102.9
39 1964	7,256,781	3,634,372	3,622,409	115.7	129.1	103.7
40 1965	7,380,637	3,692,233	3,688,404	115.5	128.7	103.8
41 1966	7,431,660	3,683,698	3,747,962	113.7	125.8	103.0
42 1967	7,478,988	3,761,267	3,717,721	114.4	126.6	103.3
43 1968	7,775,456	3,937,414	3,838,042	115.0	126.9	104.1
44 1969	8,125,600	4,115,576	4,010,024	114.1	126.1	103.1
45 1970	8,272,511	4,235,008	4,037,503	114.2	126.6	102.7
46 1971	8,359,711	4,256,605	4,103,106	113.3	126.0	101.6
47 1972	8,349,840	4,156,854	4,192,986	111.9	123.5	101.5
48 1973	8,538,820	4,234,338	4,304,482	112.8	125.1	101.9
49 1974	8,026,879	3,932,387	4,094,492	111.9	124.1	101.5
50 1975	7,543,506	3,697,721	3,845,785	111.4	123.3	101.1
51 1976	7,391,627	3,565,121	3,826,506	110.0	120.9	100.7
52 1977	7,395,319	3,567,559	3,827,760	110.8	122.7	100.8
53 1978	7,291,505	3,487,439	3,804,066	111.3	123.7	101.1
54 1979	7,295,465	3,469,432	3,826,033	111.3	124.1	101.0
55 1980	7,067,308	3,356,377	3,710,931	112.1	125.7	101.2
56 1981	6,901,752	3,318,200	3,583,552	113.2	128.1	101.1
57 1982	6,852,395	3,288,182	3,564,213	114.0	129.8	101.2
58 1983	6,674,373	3,196,126	3,478,247	113.8	129.9	101.0
59 1984	6,558,917	3,136,773	3,422,144	114.7	131.9	101.0
60 1985	6,482,108	3,117,160	3,364,948	116.1	134.6	101.5
61 1986	6,467,999	3,128,856	3,339,143	117.8	136.9	102.5
62 1987	6,536,868	3,171,170	3,365,698	118.6	137.1	103.6
63 1988	6,464,930	3,136,902	3,328,028	119.0	138.1	103.6
平成 元年 1989	6,517,930	3,158,749	3,359,181	120.1	139.9	104.2
2 1990	6,518,785	3,168,335	3,350,450	120.7	140.8	104.5
3 1991	6,402,883	3,131,194	3,271,689	121.3	141.5	104.8
4 1992	6,387,992	3,107,998	3,279,994	119.7	140.0	103.5
5 1993	6,502,831	3,079,080	3,423,751	117.3	136.7	102.4
6 1994	6,561,214	3,022,279	3,538,935	115.7	134.9	101.6
7 1995	6,632,096	3,049,567	3,582,529	115.4	134.8	101.2
8 1996	6,514,555	2,961,476	3,553,079	114.9	134.2	101.1
9 1997	6,424,690	2,936,261	3,488,429	115.3	134.6	101.4
10 1998	6,277,512	2,927,032	3,350,480	115.8	134.9	101.4
11 1999	6,186,490	2,845,046	3,341,444	114.9	132.7	101.7
12 2000	6,146,670	2,813,464	3,333,206	113.9	130.5	101.7
13 2001	6,110,826	2,810,000	3,300,826	113.8	130.0	101.7
14 2002	5,952,581	2,739,405	3,213,176	114.3	130.1	102.4
15 2003	5,961,576	2,706,049	3,255,527	114.0	129.1	102.8
16 2004	5,771,921	2,636,625	3,135,296	114.6	129.7	103.3
17 2005	5,601,560	2,601,648	2,999,912	115.6	130.0	104.4
18 2006	5,564,346	2,594,105	2,970,241	116.4	130.0	105.7
19 2007	5,498,941	2,579,538	2,919,403	116.4	129.6	106.0
20 2008	5,356,935	2,508,533	2,848,402	116.2	129.3	105.8
21 2009	5,300,025	2,469,579	2,830,446	117.5	130.5	107.2
22 2010	5,084,579	2,332,392	2,752,187	114.2	125.9	105.2

注 1) 昭和29年から47年までは、沖縄県の移動者数を含んでいない。
 2) 移動者の性比は、女性100人に対する男性の数である。
 3) 昭和33年の性比は、3月～12月の結果である。

II 都道府県別の転入・転出の状況

転入者数10万人以上は6都府県

都道府県別に転入者数をみると、東京都への転入者が39万6318人と最も多く、次いで神奈川県（21万5904人）が20万人台、埼玉県、千葉県、大阪府及び愛知県の4府県が10万人台となっている。これら6都府県への転入者数の合計は118万2999人となり、転入者数の50.7%を占めている。

(表3)

表3 都道府県別転入・転出者数（平成21年，平成22年）

都道府県	転入者数				転出者数				転入超過数 (-は転出超過)		
	平成22年	平成21年	対前年増減		平成22年	平成21年	対前年増減		平成22年	平成21年	対前年増減数
			実数	率(%)			実数	率(%)			
全 国	2,332,392	2,469,579	-137,187	-5.6	2,332,392	2,469,579	-137,187	-5.6	0	0	0
北海道	48,784	51,598	-2,814	-5.5	57,421	63,776	-6,355	-10.0	-8,637	-12,178	3,541
青森県	19,963	20,700	-737	-3.6	24,995	27,299	-2,304	-8.4	-5,032	-6,599	1,567
岩手県	17,893	18,642	-749	-4.0	22,131	24,185	-2,054	-8.5	-4,238	-5,543	1,305
宮城県	47,358	49,058	-1,700	-3.5	47,914	50,985	-3,071	-6.0	-556	-1,927	1,371
秋田県	12,735	13,670	-935	-6.8	16,463	18,219	-1,756	-9.6	-3,728	-4,549	821
山形県	13,517	14,512	-995	-6.9	17,124	18,512	-1,388	-7.5	-3,607	-4,000	393
福島県	25,611	26,430	-819	-3.1	31,363	34,339	-2,976	-8.7	-5,752	-7,909	2,157
茨城県	50,029	53,268	-3,239	-6.1	49,085	51,546	-2,461	-4.8	944	1,722	-778
栃木県	31,940	33,830	-1,890	-5.6	33,465	36,403	-2,938	-8.1	-1,525	-2,573	1,048
群馬県	27,335	28,499	-1,164	-4.1	28,633	30,381	-1,748	-5.8	-1,298	-1,882	584
埼玉県	162,483	168,888	-6,405	-3.8	147,059	150,805	-3,746	-2.5	15,424	18,083	-2,659
千葉県	151,402	162,199	-10,797	-6.7	137,215	140,507	-3,292	-2.3	14,187	21,692	-7,505
東京都	396,318	413,370	-17,052	-4.1	347,987	357,150	-9,163	-2.6	48,331	56,220	-7,889
神奈川県	215,904	228,793	-12,889	-5.6	201,017	207,327	-6,310	-3.0	14,887	21,466	-6,579
新潟県	23,754	24,544	-790	-3.2	27,858	29,005	-1,147	-4.0	-4,104	-4,461	357
富山県	12,664	12,964	-300	-2.3	13,310	14,896	-1,586	-10.6	-646	-1,932	1,286
石川県	17,182	18,194	-1,012	-5.6	17,705	19,064	-1,359	-7.1	-523	-870	347
福井県	9,058	9,391	-333	-3.5	10,468	11,681	-1,213	-10.4	-1,410	-2,290	880
山梨県	13,070	14,179	-1,109	-7.8	14,438	15,361	-923	-6.0	-1,368	-1,182	-186
長野県	26,871	27,939	-1,068	-3.8	28,974	32,467	-3,493	-10.8	-2,103	-4,528	2,425
岐阜県	26,793	27,962	-1,169	-4.2	30,181	33,150	-2,969	-9.0	-3,388	-5,188	1,800
静岡県	52,128	57,844	-5,716	-9.9	56,022	60,982	-4,960	-8.1	-3,894	-3,138	-756
愛知県	105,769	120,530	-14,761	-12.2	107,031	116,455	-9,424	-8.1	-1,262	4,075	-5,337
三重県	27,619	30,334	-2,715	-9.0	29,211	33,758	-4,547	-13.5	-1,592	-3,424	1,832
滋賀県	26,793	28,095	-1,302	-4.6	24,477	27,011	-2,534	-9.4	2,316	1,084	1,232
京都府	53,014	54,863	-1,849	-3.4	54,954	58,464	-3,510	-6.0	-1,940	-3,601	1,661
大阪府	151,123	159,651	-8,528	-5.3	154,693	161,924	-7,231	-4.5	-3,570	-2,273	-1,297
兵庫県	90,632	97,234	-6,602	-6.8	93,275	97,031	-3,756	-3.9	-2,643	203	-2,846
奈良県	25,690	26,387	-697	-2.6	27,987	29,271	-1,284	-4.4	-2,297	-2,884	587
和歌山県	12,064	12,675	-611	-4.8	14,289	15,179	-890	-5.9	-2,225	-2,504	279
鳥取県	9,319	9,870	-551	-5.6	10,451	11,723	-1,272	-10.9	-1,132	-1,853	721
島根県	10,749	11,101	-352	-3.2	12,319	13,000	-681	-5.2	-1,570	-1,899	329
岡山県	28,005	29,712	-1,707	-5.7	30,089	32,346	-2,257	-7.0	-2,084	-2,634	550
広島県	47,265	49,757	-2,492	-5.0	49,167	52,964	-3,797	-7.2	-1,902	-3,207	1,305
山口県	23,041	24,863	-1,822	-7.3	25,927	27,584	-1,657	-6.0	-2,886	-2,721	-165
徳島県	10,120	10,477	-357	-3.4	11,705	12,515	-810	-6.5	-1,585	-2,038	453
香川県	18,458	19,122	-664	-3.5	19,863	19,956	-93	-0.5	-1,405	-834	-571
愛媛県	18,762	19,913	-1,151	-5.8	21,358	22,550	-1,192	-5.3	-2,596	-2,637	41
高知県	10,778	10,341	437	4.2	11,560	12,519	-959	-7.7	-782	-2,178	1,396
福岡県	98,435	104,136	-5,701	-5.5	95,762	103,667	-7,905	-7.6	2,673	469	2,204
佐賀県	15,906	16,948	-1,042	-6.1	17,494	18,857	-1,363	-7.2	-1,588	-1,909	321
長崎県	24,343	25,929	-1,586	-6.1	29,206	31,815	-2,609	-8.2	-4,863	-5,886	1,023
熊本県	28,759	30,520	-1,761	-5.8	31,031	34,781	-3,750	-10.8	-2,272	-4,261	1,989
大分県	19,505	21,193	-1,688	-8.0	21,548	23,473	-1,925	-8.2	-2,043	-2,280	237
宮崎県	19,870	21,696	-1,826	-8.4	22,017	23,982	-1,965	-8.2	-2,147	-2,286	139
鹿児島県	29,182	31,105	-1,923	-6.2	32,167	34,862	-2,695	-7.7	-2,985	-3,757	772
沖縄県	24,399	26,653	-2,254	-8.5	23,983	25,852	-1,869	-7.2	416	801	-385

転出者数10万人以上は6都府県

都道府県別に転出者数をみると、東京都からの転出者が34万7987人と最も多く、次いで神奈川県(20万1017人)が20万人台、大阪府、埼玉県、千葉県及び愛知県の4府県が10万人台となっている。これら6都府県からの転出者数の合計は109万5002人となり、転出者数の46.9%を占めている。

なお、転出者数が10万人以上の6都府県は、転入者数も10万人以上となっている。(表3)

転入超過は前年に比べ2県減少し、8都県

都道府県別に転入超過数をみると、東京都が4万8331人と最も多く、次いで埼玉県(1万5424人)、神奈川県(1万4887人)、千葉県(1万4187人)など8都県で転入超過となり、前年に比べて2県減少している。8都県は前年も転入超過であるが、福岡県及び滋賀県を除く6都県で転入超過数が減少している。

(表4)

愛知県は14年ぶりに転出超過

都道府県別に転出超過数をみると、北海道が8637人と最も多く、次いで福島県(5752人)、青森県(5032人)、長崎県(4863人)など39道府県で転出超過となっている。

前年の転入超過から転出超過へ転じたのは、愛知県及び兵庫県の2県で、このうち、愛知県は平成8年以来14年ぶりに転出超過となっている。

前年と比べ転出超過数が増加しているのは、大阪府、静岡県、香川県、山梨県、山口県の5府県で、前年の8府県から3県減少している。これに対し、北海道、長野県、福島県など32道府県では減少しており、減少幅は、3000人台が北海道(3541人)、2000人台が2県、1000人台が12府県となっている。

(表4, 統計表第2表)

表4 都道府県別転入超過数(降順)
(平成21年, 平成22年)

		平成22年		平成21年	
1	東京都	48,331	東京都	56,220	
2	埼玉県	15,424	千葉県	21,692	
3	神奈川県	14,887	神奈川県	21,466	
4	千葉県	14,187	埼玉県	18,083	
5	福岡県	2,673	愛知県	4,075	
6	滋賀県	2,316	茨城県	1,722	
7	茨城県	944	滋賀県	1,084	
8	沖縄県	416	沖縄県	801	
9	石川県	-523	福岡県	469	
10	宮城県	-556	兵庫県	203	
11	富山県	-646	香川県	-834	
12	高知県	-782	石川県	-870	
13	鳥取県	-1,132	山梨県	-1,182	
14	愛知県	-1,262	鳥取県	-1,853	
15	群馬県	-1,298	群馬県	-1,882	
16	山梨県	-1,368	島根県	-1,899	
17	香川県	-1,405	佐賀県	-1,909	
18	福井県	-1,410	宮城県	-1,927	
19	栃木県	-1,525	富山県	-1,932	
20	島根県	-1,570	徳島県	-2,038	
21	徳島県	-1,585	高知県	-2,178	
22	佐賀県	-1,588	大阪府	-2,273	
23	三重県	-1,592	大分県	-2,280	
24	広島県	-1,902	宮崎県	-2,286	
25	京都府	-1,940	福井県	-2,290	
26	大分県	-2,043	和歌山県	-2,504	
27	岡山県	-2,084	栃木県	-2,573	
28	長野県	-2,103	岡山県	-2,634	
29	宮崎県	-2,147	愛媛県	-2,637	
30	和歌山県	-2,225	山口県	-2,721	
31	熊本県	-2,272	奈良県	-2,884	
32	奈良県	-2,297	静岡県	-3,138	
33	愛媛県	-2,596	広島県	-3,207	
34	兵庫県	-2,643	三重県	-3,424	
35	山口県	-2,886	京都府	-3,601	
36	鹿児島県	-2,985	鹿児島県	-3,757	
37	岐阜県	-3,388	山形県	-4,000	
38	大阪府	-3,570	熊本県	-4,261	
39	山形県	-3,607	新潟県	-4,461	
40	秋田県	-3,728	長野県	-4,528	
41	静岡県	-3,894	秋田県	-4,549	
42	新潟県	-4,104	岐阜県	-5,188	
43	岩手県	-4,238	岩手県	-5,543	
44	長崎県	-4,863	長崎県	-5,886	
45	青森県	-5,032	青森県	-6,599	
46	福島県	-5,752	福島県	-7,909	
47	北海道	-8,637	北海道	-12,178	

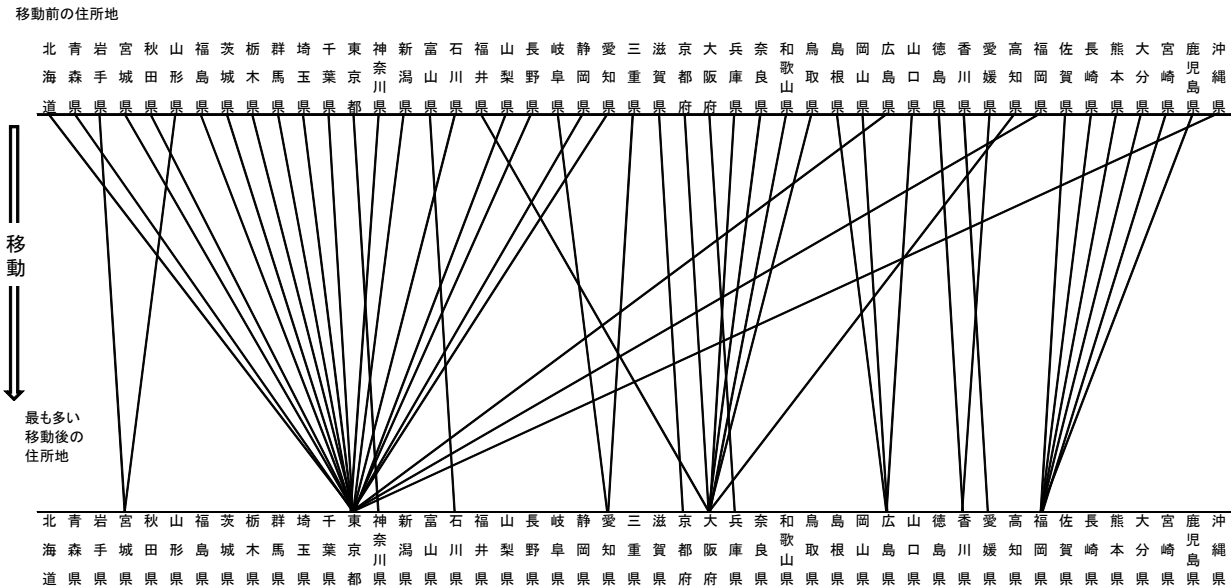
注) -は転出超過

Ⅲ 都道府県間移動者の主な移動後・移動前の住所地

「東京都が最も多い移動後の住所地」であるのが20道県で、前年より1県増加

都道府県別に転出者の「最も多い移動後の住所地」をみると、東京都が20道県（前年に比べ1県増加）、大阪府が7府県（前年と同様）、福岡県が6県（前年に比べ1県減少）などとなっている。（図2、統計表第5表）

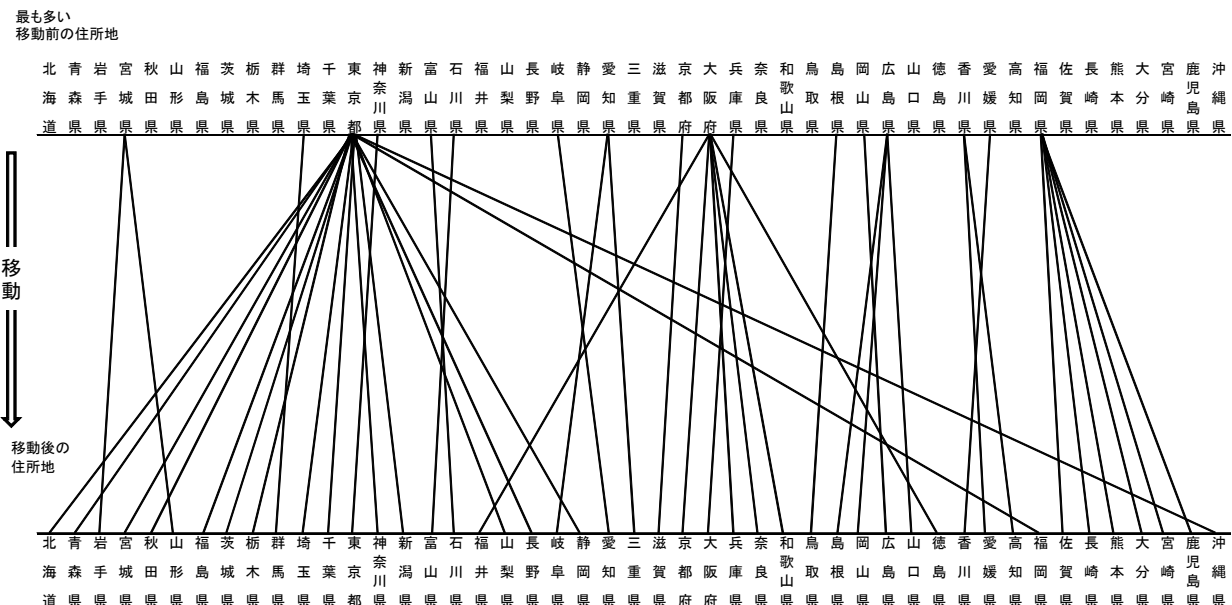
図2 都道府県間移動者（転出者）の「最も多い移動後の住所地」（平成22年）



「東京都が最も多い移動前の住所地」であるのが16道県で、前年より1県増加

都道府県別に転入者の「最も多い移動前の住所地」をみると、東京都が16道県（前年に比べ1県増加）、大阪府が6府県（前年に比べ1県減少）、福岡県が6県（前年と同様）などとなっている。（図3、統計表第5表）

図3 都道府県間移動者（転入者）の「最も多い移動前の住所地」（平成22年）



IV 3大都市圏の転入・転出の状況

3大都市圏全体の転入超過数は6年ぶりに10万人を下回る

3大都市圏（東京圏、名古屋圏及び大阪圏）における転入・転出の状況をみると、3大都市圏全体では7万6137人の転入超過となっている。東京圏は9万2829人の転入超過であるのに対して、名古屋圏は6242人、大阪圏は1万450人の転出超過となっている。

近年の動きをみると、転入超過数は、平成16年から19年までは前年に比べて増加していたが、20年以降は前年に比べて減少が続いている。

平成22年は転入超過数が7万6137人と、8年以降15年連続で転入超過となっているものの、前年に比べて2万8232人減少している。転入超過数が10万人を下回るのは平成16年以来6年ぶりとなっている。

（表5、図4、統計表第4表）

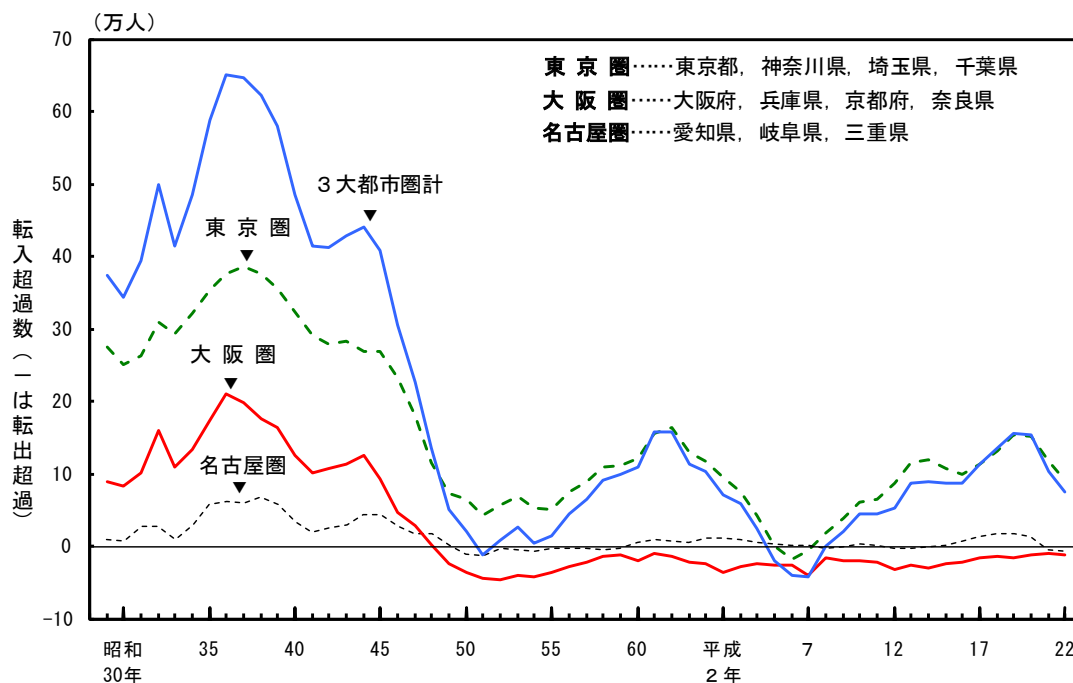
東京圏の転入超過数は10年ぶりに10万人を下回る

東京圏は、平成6年及び7年を除き一貫して転入超過で推移しているものの、22年は転入超過数が9万2829人と、12年以来10年ぶりに10万人を下回っている。

東京圏を構成する各都県の転入超過数をみると、全ての都県で、前年に比べて減少している。

（表5、図4、統計表第4表）

図4 3大都市圏の転入超過数の推移（昭和29年～平成22年）



名古屋圏は前年に引き続き転出超過

名古屋圏は、昭和49年まで転入超過で推移した後、50年から59年までは転出超過が続き、60年以降は、平成8年と12年から14年までを除き転入超過となっていたが、21年に7年ぶりに転出超過に転じた。

平成22年は転出超過数が6242人と、前年に引き続き転出超過となっている。

名古屋圏を構成する各県の転出超過数をみると、前年に比べて、愛知県は転入超過から転出超過に転じ、三重県及び岐阜県は転出超過数が減少している。 (表5, 図4, 統計表第4表)

大阪圏は転出超過数が1万人を上回る

大阪圏は、昭和48年まで転入超過で推移した後、49年以降は一貫して転出超過が続いている。

平成22年は転出超過数が1万450人と、前年に比べて1895人増加し、20年以来2年ぶりに1万人を上回っている。

大阪圏を構成する各府県の転出超過数をみると、前年に比べて、大阪府は転出超過数が増加し、京都府及び奈良県は転出超過数が減少している。兵庫県は転入超過から転出超過に転じている。

(表5, 図4, 統計表第4表)

表5 3大都市圏別転入・転出者数（平成13年～平成22年）

区 分	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
東京圏										
転入者数	553,633	546,389	532,582	518,913	521,623	529,287	540,015	528,009	505,873	470,077
転出者数	436,800	427,014	424,641	418,051	406,935	397,254	384,865	376,313	388,412	377,248
転入超過数	116,833	119,375	107,941	100,862	114,688	132,033	155,150	151,696	117,461	92,829
名古屋圏										
転入者数	137,630	136,453	136,265	139,033	144,132	148,315	148,443	144,055	131,912	117,011
転出者数	140,226	137,100	133,735	130,839	129,120	130,441	130,889	130,530	136,449	123,253
転入超過数	-2,596	-647	2,530	8,194	15,012	17,874	17,554	13,525	-4,537	-6,242
大阪圏										
転入者数	241,097	232,282	231,406	226,201	223,243	221,821	219,421	215,444	213,243	200,663
転出者数	266,718	260,763	254,148	246,978	238,265	235,548	235,067	226,587	221,798	211,113
転入超過数	-25,621	-28,481	-22,742	-20,777	-15,022	-13,727	-15,646	-11,143	-8,555	-10,450
3大都市圏計										
転入者数	932,360	915,124	900,253	884,147	888,998	899,423	907,879	887,508	851,028	787,751
転出者数	843,744	824,877	812,524	795,868	774,320	763,243	750,821	733,430	746,659	711,614
転入超過数	88,616	90,247	87,729	88,279	114,678	136,180	157,058	154,078	104,369	76,137

注) 転入超過数がマイナス（-）の場合は、転出超過を示す。

V 20大都市の転入・転出の状況

名古屋市は9年ぶりに転出超過

20大都市（東京都特別区部及び19政令指定都市）別に転入・転出の状況をみると、転入超過数は東京都特別区部が3万3098人と最も多く、次いで大阪市（5820人）、さいたま市（5693人）、福岡市（5389人）、札幌市（5288人）など、15都市が転入超過となっている。このうち、13都市^{注）}の転入超過数は、前年と比べて、広島市及び福岡市の2都市が増加し、川崎市、東京都特別区部など10都市が減少、仙台市が転出超過から転入超過に転じている。仙台市の転入超過は、平成17年以来5年ぶりとなっている。

一方、転出超過数は、北九州市が870人と最も多く、次いで浜松市（671人）など、5都市が転出超過となっている。前年と比べて、転出超過数は京都市、静岡市及び北九州市が減少、浜松市が増加、名古屋市が転入超過から転出超過に転じている。名古屋市の転出超過は平成13年以来9年ぶりとなっている。

（表6、統計表第2表）

注）岡山市は平成21年4月1日から、相模原市は22年4月1日から政令指定都市となったため、前年との比較においては、岡山市及び相模原市を除く。

表6 20大都市別転入・転出者数（平成21年、平成22年）

（人）

20大都市	転入者数				転出者数				転入超過数 （－は転出超過）		
	平成22年	平成21年	対前年増減		平成22年	平成21年	対前年増減		平成22年	平成21年	対前年 増減数
			実数	率(%)			実数	率(%)			
20大都市計	1,225,506	1,254,314	-53,909	-4.4	1,154,375	1,163,245	-35,698	-3.1	71,131	91,069	-18,211
札幌市	61,907	65,206	-3,299	-5.1	56,619	59,713	-3,094	-5.2	5,288	5,493	-205
仙台市	43,306	44,701	-1,395	-3.1	42,136	44,808	-2,672	-6.0	1,170	-107	1,277
さいたま市	51,157	53,976	-2,819	-5.2	45,464	46,042	-578	-1.3	5,693	7,934	-2,241
千葉市	37,513	39,563	-2,050	-5.2	33,880	35,186	-1,306	-3.7	3,633	4,377	-744
東京都特別区部	334,899	345,888	-10,989	-3.2	301,801	308,497	-6,696	-2.2	33,098	37,391	-4,293
横浜市	122,121	127,773	-5,652	-4.4	118,340	120,552	-2,212	-1.8	3,781	7,221	-3,440
川崎市	74,295	79,173	-4,878	-6.2	69,517	69,395	122	0.2	4,778	9,778	-5,000
相模原市	18,789	—	—	—	17,989	—	—	—	800	—	—
新潟市	18,120	18,490	-370	-2.0	17,840	17,928	-88	-0.5	280	562	-282
静岡市	16,561	17,317	-756	-4.4	16,836	18,293	-1,457	-8.0	-275	-976	701
浜松市	16,541	18,014	-1,473	-8.2	17,212	18,494	-1,282	-6.9	-671	-480	-191
名古屋市	76,083	83,179	-7,096	-8.5	76,339	79,110	-2,771	-3.5	-256	4,069	-4,325
京都市	40,280	41,558	-1,278	-3.1	40,705	43,238	-2,533	-5.9	-425	-1,680	1,255
大阪市	93,127	96,982	-3,855	-4.0	87,307	89,909	-2,602	-2.9	5,820	7,073	-1,253
堺市	24,212	25,755	-1,543	-6.0	24,049	24,909	-860	-3.5	163	846	-683
神戸市	42,641	44,321	-1,680	-3.8	40,483	41,828	-1,345	-3.2	2,158	2,493	-335
岡山市	21,466	15,154	—	—	21,304	12,465	—	—	162	2,689	—
広島市	36,673	37,903	-1,230	-3.2	35,258	37,527	-2,269	-6.0	1,415	376	1,039
北九州市	26,081	27,546	-1,465	-5.3	26,951	28,521	-1,570	-5.5	-870	-975	105
福岡市	69,734	71,815	-2,081	-2.9	64,345	66,830	-2,485	-3.7	5,389	4,985	404

注）岡山市は平成21年4月1日から、相模原市は22年4月1日からの数値。

20大都市計の転入者数及び転出者数の対前年増減は、岡山市及び相模原市を除いて計算した。

VI 年齢5歳階級別の都道府県間移動者数

20～39歳が都道府県間移動者数の6割を占める

都道府県間移動者数を年齢5歳階級別にみると、25～29歳が42万8795人（都道府県間移動者数の18.4%）、20～24歳が42万6978人（同18.3%）、30～34歳が32万420人（同13.7%）、35～39歳が23万6249人（同10.1%）などとなっており、この4区分で都道府県間移動者数の60.6%を占めている。（図5、表7）

転入・転出者数共に20～29歳の割合が高い

都道府県別に転入・転出者数における年齢5歳階級の割合をみると、転入・転出者数共にいずれの都道府県でも、20～24歳あるいは25～29歳が最も高くなっている。

転入者数に占める割合が最も高い年齢階級は、28都府県で20～24歳、19道県で25～29歳となっており、転出者数に占める割合が最も高い年齢階級は、38道県で20～24歳、9都府県で25～29歳となっている。

20～24歳についてみると、転入超過は、東京都（3万5587人）、神奈川県（9501人）、大阪府（6069人）、千葉県（3624人）、埼玉県（3174人）及び愛知県（3166人）の6都府県、転出超過は、北海道（4997人）、新潟県（2926人）、福島県（2588人）など41道府県となっている。

20～24歳が転入超過となった6都府県のうち、東京都、神奈川県、千葉県及び埼玉県は、都道府県間移動者数が転入超過となっているが、大阪府及び愛知県は転出超過となっている。

（図6-1～6-2、図7-1～7-6、統計表第7表）

都道府県で大きく異なる転入・転出超過の状況

都道府県間移動者数が転入超過となった8都県のうち、福岡県、滋賀県、茨城県及び沖縄県の4県では、いずれも20～24歳は転出超過となっており、同じく都道府県間移動者数が転入超過となった東京都、埼玉県、神奈川県及び千葉県とは異なる状況となっている。

（図8-1～8-4、統計表第6表）

図5 都道府県間移動者に占める年齢階級別割合
（平成22年）

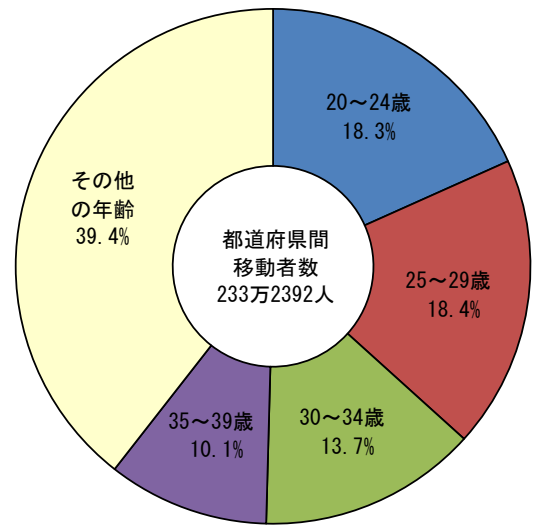


表7 年齢5歳階級別都道府県間移動者数
（平成22年）

	都道府県間移動者数	
	実数（人）	割合（%）
総数	2,332,392	100.0
0～4歳	150,278	6.4
5～9	81,323	3.5
10～14	43,651	1.9
15～19	137,644	5.9
20～24	426,978	18.3
25～29	428,795	18.4
30～34	320,420	13.7
35～39	236,249	10.1
40～44	143,206	6.1
45～49	89,088	3.8
50～54	66,540	2.9
55～59	58,583	2.5
60～64	53,942	2.3
65～69	28,758	1.2
70～74	18,792	0.8
75～79	16,225	0.7
80～84	15,223	0.7
85～89	10,877	0.5
90歳以上	5,761	0.2

注）総数には年齢不詳を含む。

図6-1 都道府県、年齢階級別転入者に占める割合（平成22年）

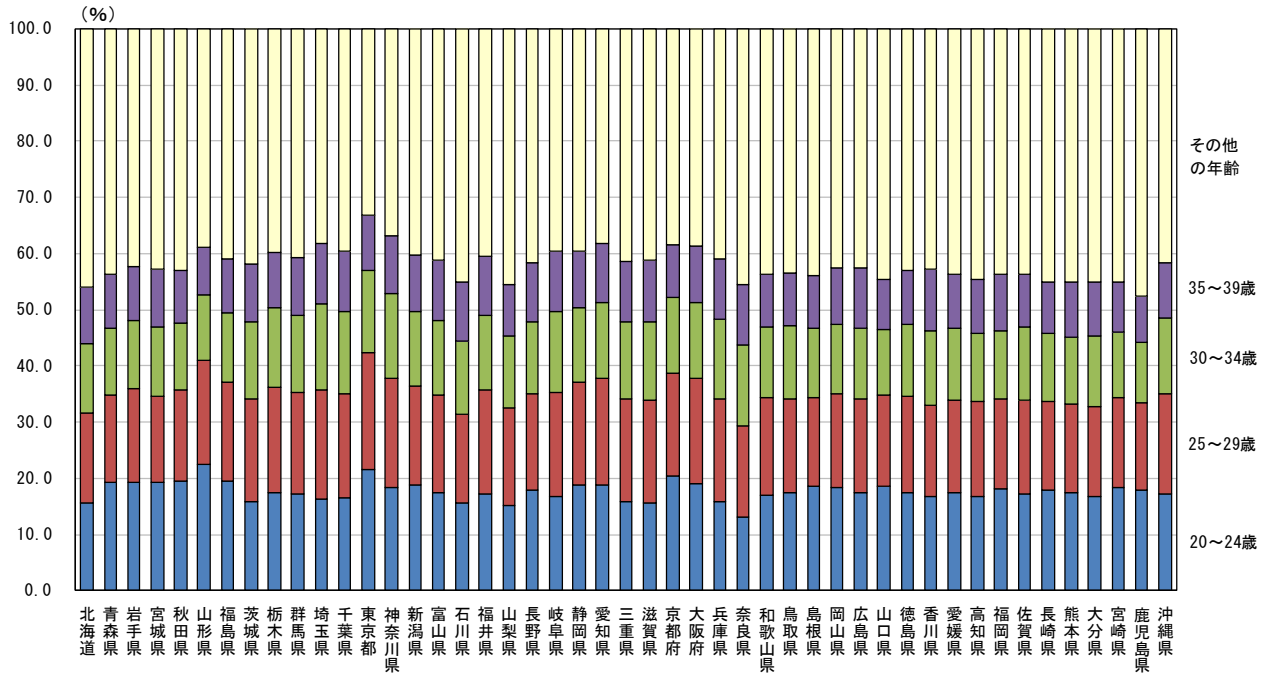


図6-2 都道府県、年齢階級別転出者に占める割合（平成22年）

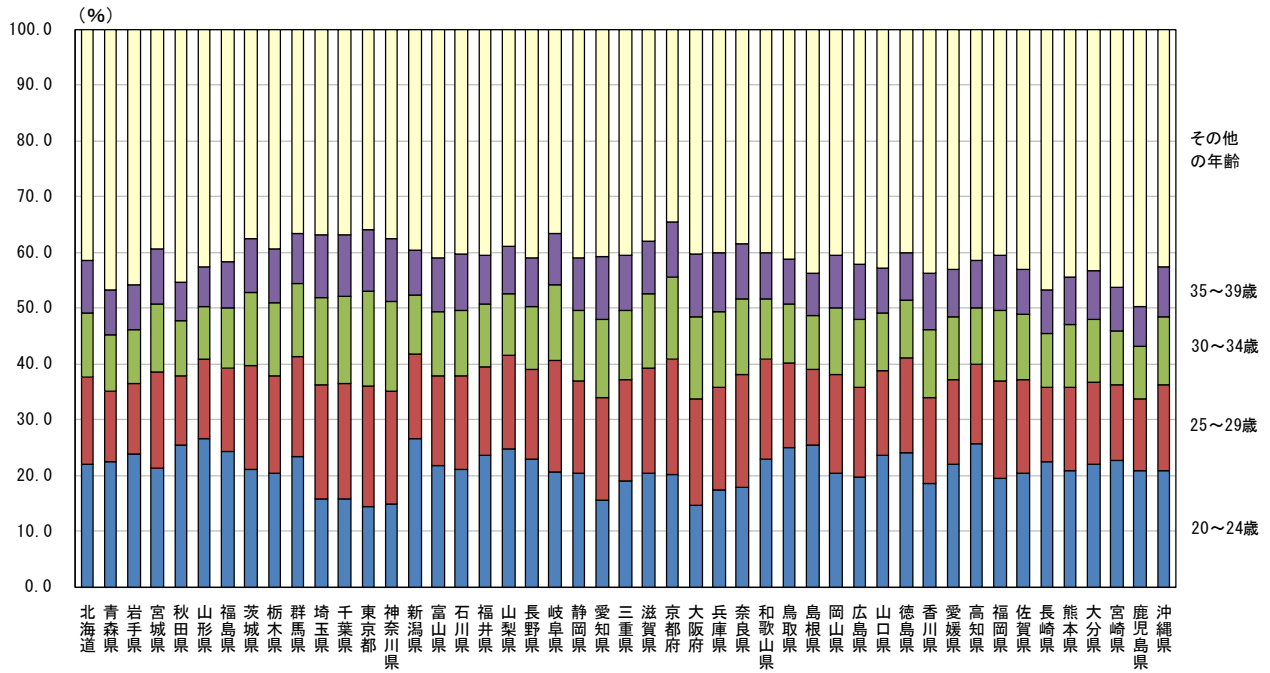


図7-1 埼玉県の年齢5歳階級別転入超過数
(平成22年)

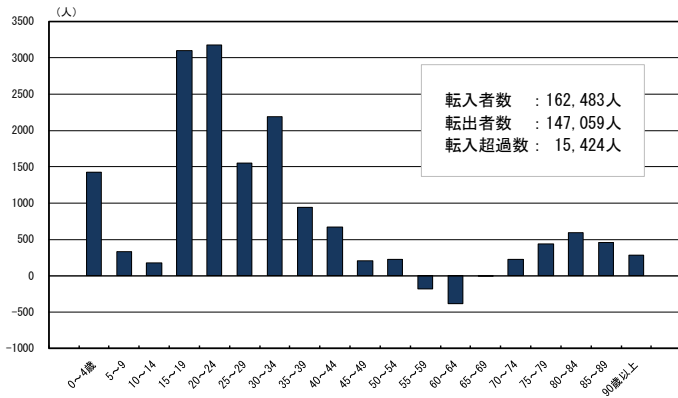


図7-2 千葉県の年齢5歳階級別転入超過数
(平成22年)

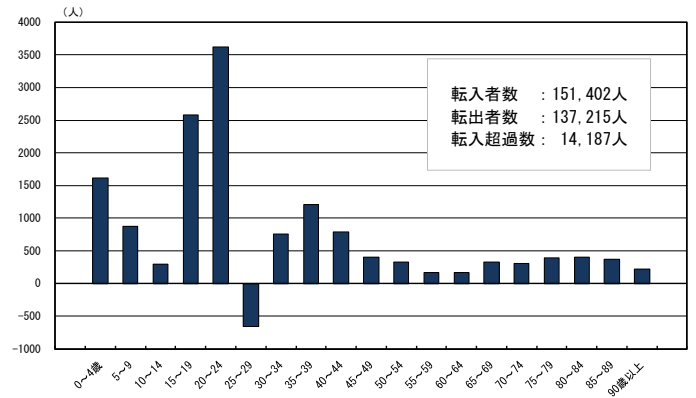


図7-3 東京都の年齢5歳階級別転入超過数
(平成22年)

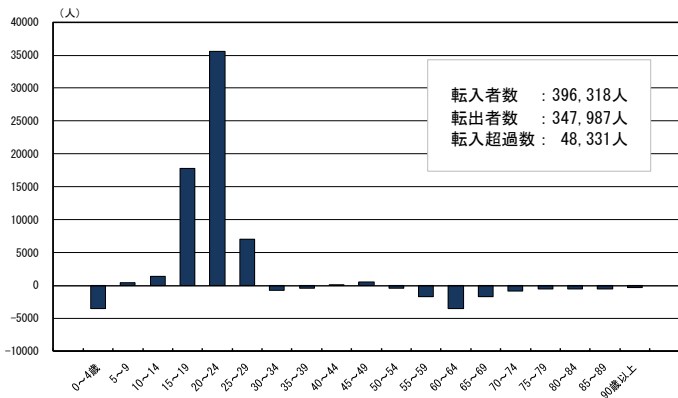


図7-4 神奈川県への年齢5歳階級別転入超過数
(平成22年)

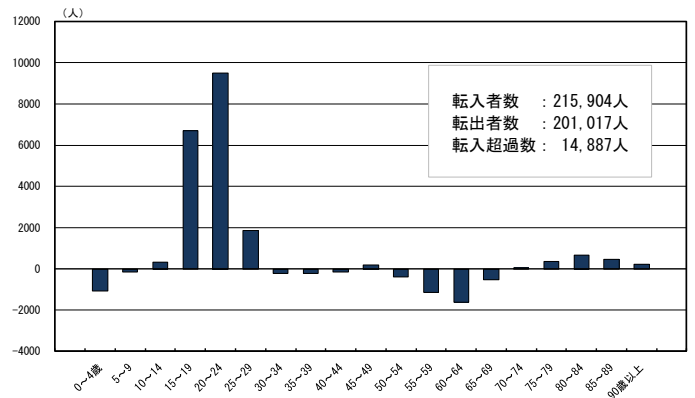


図7-5 愛知県の年齢5歳階級別転入超過数
(平成22年)

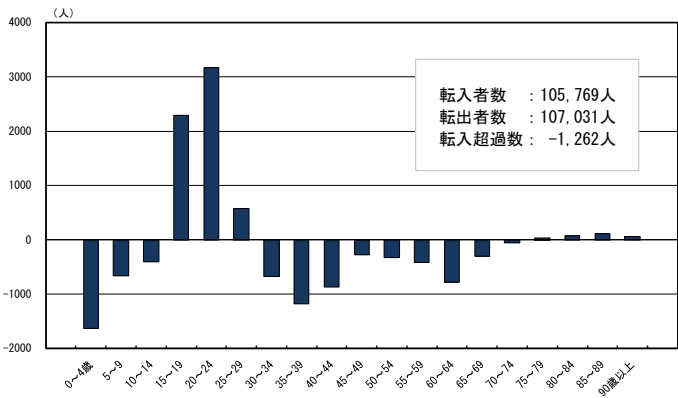
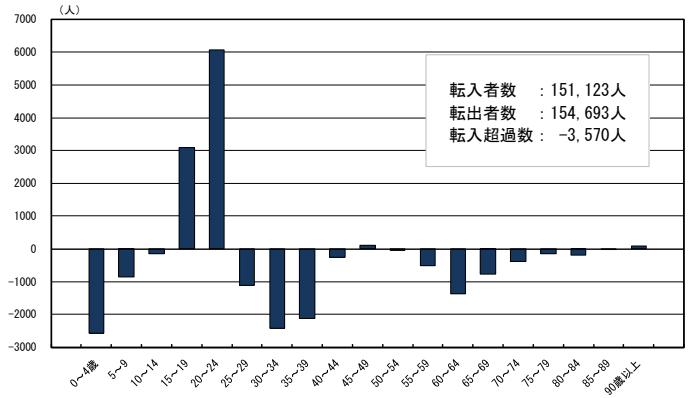


図7-6 大阪府の年齢5歳階級別転入超過数
(平成22年)



注) 転入超過数がマイナス (-) の場合は、転出超過を示す。

図 8 - 1 茨城県の年齢 5 歳階級別転入超過数
(平成22年)

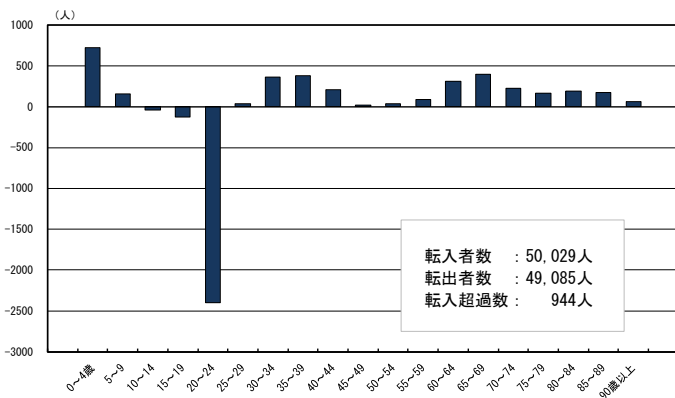


図 8 - 2 滋賀県の年齢 5 歳階級別転入超過数
(平成22年)

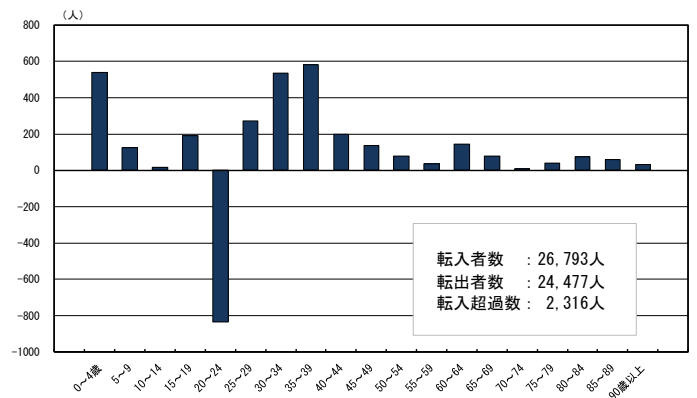


図 8 - 3 福岡県の年齢 5 歳階級別転入超過数
(平成22年)

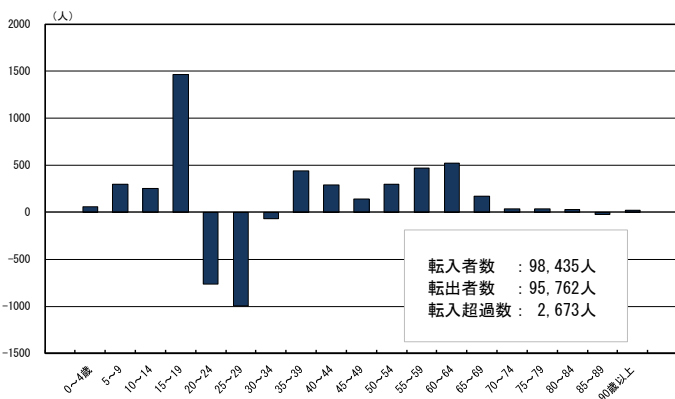
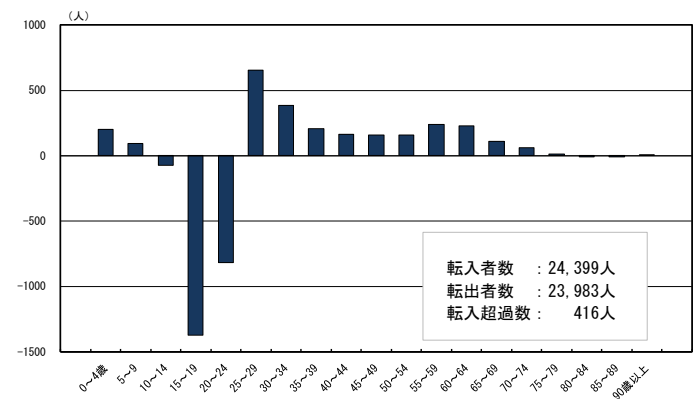


図 8 - 4 沖縄県の年齢 5 歳階級別転入超過数
(平成22年)



注) 転入超過数がマイナス (-) の場合は、転出超過を示す。